



700万人時代  
認知症とともに生きる

## 若年性の男性、通所施設で働く

京都市北区の下坂厚さん(47)は、アルツハイマー病による若年性認知症と向き合いながら日々を暮らしている。不安が尽きず、生活でも仕事でも不便が多い。それでも人とつながり、笑う。新型コロナウイルスによって引き離され、希薄になった人と人の触れ合いの大切さと、人から感じる温かさを、下坂さんは教えてくれる。  
(松村和彦)

26面に続く

デイサービスで仕事中的下坂さん。若年性認知症の影響で周囲についていけないことがある。「自分以外が白黒になる感じ」(2020年11月30日、京都市右京区・高齢者福祉施設「西院」)